

JA福岡大城の「つやおとめ」減農薬・減化学肥料栽培こよみ

合計成分数「9」まで

JA福岡大城、南筑後・久留米普及指導センター
令和4年2月作成

月 旬	5月		6月		7月			8月			9月			10月							
	中	下	上	中	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
生育 ステージ	育苗準備		育苗期		活着期		有効分けつ期		無効分けつ期		種の発育期			登熟期			収穫期				
水管理					浅水		間断かん水		中干し 1週間程度		間断かん水		水が最も必要な期間			間断かん水			落水		
主な 作業	★温湯消毒・浸種 ★播種		★田植え 6月20日から25日までに		★栽培密度 坪あたり60株 ★除草剤散布 散布後1週間は入水や、落水はしない		間断かん水から徐々に中干しに入る 白くなる前までしっかりと干す 中干しは小ヒビが入る程度で ◎最高分けつ期		★穂肥① 出穂前18日頃 ★穂肥② 1回目の1週間後 ★本田防除 ◎出穂期		落水は収穫作業に影響が出ない 範囲で、できるだけ遅く行う。 目安として、刈り取りの7~10 日前に落水する。			◎成熟期 適期刈り取り			虫見をよく行い、害虫の発生状況を十分 確認し、本田防除は原則実施しない。 収量への被害が著しい場合のみ防除する。				

【施肥基準】

例	基肥	穂肥① 8月14日頃	穂肥② 8月21日頃	(10a当たり) 化成肥料由来の 窒素成分
1	助スーパーユーキくん1号 30kg以下	スーパーユーキくん3号 20kg	スーパーユーキくん3号 10kg	2.96kg
2	高有機一熟晚稲24 60kg	なし	なし	2.84kg

※いずれの例も、施肥合計は最高70kg/10aまで可能。 ※大豆あとのほ場では基肥を入れない。

売れる「JA福岡大城のつやおとめ」重点目標

- 種子更新100%
- 田植え時期の統一
- 適正な施肥、農薬使用などの栽培管理
- 確実な栽培履歴の記帳

●詳しくは下記まで連絡して下さい●
JA福岡大城(農産課) 0944-32-1341
南筑後普及指導センター(水田農業係) 0944-52-4191
久留米普及指導センター(水田農業係) 0942-47-5101

【病害虫防除】

時期	種子消毒		育苗防除		本田防除	
	浸種前	浸種後	田植え前3日~田植え前日	フェルテラゼクサロン粒剤	8月上旬~下旬	
使用基準	温湯消毒 60℃ 10分		50g/箱 ※散布後、ジョロなどで水をかけ、 薬剤を落ち着かせる		・オクストラムタムモンカト粉剤DL ・オクストラムタムモンカトエア	
農薬成分数	0		2		3	

※収れ病のみの防除を行う場合は、バリダシン粉剤DLを田植え前(8月中下旬)に散布します。

※ジャンボタニシ対策スクムベイト成分数「0」

※確立枯病対策タゲレン成分数「1」

【除草剤】

除草剤	10a使用量	使用時期	農薬使用成分数
ビクトリーF フロアブル	500ml	田植え後5日~ノビエ3.0草期まで (但し、移植後30日まで)	2
ビクトリーF 1キログラム	1kg		
ボデーガードフロ フロアブル	500ml	田植え後3日~ノビエ2.5草期まで (但し、移植後30日まで)	
ボデーガードフロ ジャンボ	10パック		
ガンガン ジャンボ	10パック		

※農薬安全使用の遵守 ※農薬飛散防止に努めましょう。

◆安全・安心な良食味米生産のため、施肥および農薬散布基準を遵守しましょう。